

信州大学歩行アシストサイボーグの文部科学省企画展示等業務
仕様書

1.企画展示室への企画・展示

	ゾーンとテーマ(基本案)	具体的な内容(基本案)
1	歩行アシストサイボーグが実現する 快適な未来 …この開発で社会はどう変わる？	・介護や生活支援を大きく軽減する歩行アシストサイボーグ 技術が高齢化社会を支える、快適な近未来を映像等で 想像させる
2	歩行アシストサイボーグの仕組み …開発のベースとなる ロボティックウェア「クララ」とは？	・サイボーグCG(仕組み・稼働イメージ) ・(※1)サイボーグ実寸模型(3Dプリンタ等で作成)の検討 ・クララ3号機(実機展示)+マネキン ・クララCG(モータの駆動イメージ+脱着方法)
3	プロジェクトの概要 ・意義と先進性 ・組織と開発体制 ・開発のロードマップ (5年後のゴールイメージまで)	・各内容を壁面またはパネル等で説明する ・基本資料は提供するが、デザイン・レイアウト等検討する ・本学の研究組織の特徴「先鋭領域融合研究群」のPRも 兼ねること
4	展示物(什器・印刷物等含む)費用 設営費・撤去費・運搬費	・設営・撤去は各1日(～2日)イメージ ・撤去後は信州大学学内に再設置を行うこと ・会場設置のパンフレット類は仕様から企画する (1000部制作予定)

- ・歩行アシストサイボーグ記者会見資料等をもとに企画する。
- ・(※1)のサイボーグ実寸模型(3Dプリンタ等で作成)については、構造などをどう分かりやすく見せるかを工夫する。
- ・歩行アシストサイボーグ及びクララのCADデータ(DXFフォーマット:基本パーツのみ)は本学が提供する。
- ・上記1・2(できれば3も)の説明に大型(50inch以上)のデジタルサイネージもしくはモニターが必須(レンタルは不可)。
- ・会場設置のパンフレット類は今回の企画展示の概要がわかる簡単な仕様で可。
- ・撤去後、学内への再設置を前提とするため、基本的にレンタル備品の使用は避ける。
- ・平面図などの会場資料は「会場資料1」参照のこと。
- ・会場設置の大学概要・先鋭領域融合研究群・クララの各パンフレットは本学が提供する。(カタログスタンドは業務予算から支出する)。

2.イベントの企画・運営

- ・会場資料「会場資料2」を参照し、この施設規模内でイベント内容を企画する。
- ・対象者はロボティックウェア「クララ」の実用化に興味のあるビジネスユーザー約50名と仮定し、可能であれば集客方法も記載する。
- ・大学からの機材・教職員等の提供については、調整の上可能な限り協力する。(その際、機材の梱包・運搬費については業務予算から支出する)。

3.工程管理

- ・受託業者は受注決定後速やかに本学担当者と制作会議を行い、本学担当者が完成をイメージできる資料を作成し、打ち合わせを行うこと。また、以後定期的に進捗報告を行うこと。

4. 予算

5500千円(税込)以内とする。

5. 契約期間

平成27年11月上旬から平成28年8月31日(水)まで

6. その他

- 本契約によって生じた成果物については、発生した著作権を本学に無償で譲渡するものとする。
- 請負者は本契約によって生じた成果物について、発注者が将来的に行う改変、修正、公表等に関して、著作者人格権を行使しないことに合意するものとする。
- その他、本要領に定めのない事項については本学の指示に従うこと。